

注意！ 英語の添付文書・簡易取扱説明書が同梱されている場合は、使用いたしませんので、廃棄してください。

SARS-CoV-2 ラピッド抗原テスト(一般用)簡易取扱説明書

※ 本内容は添付文書の抜粋となりますので、詳細は添付文書等をご確認ください。

検体採取と取扱方法は以下の Web サイトでご紹介しています。
https://dianews.roche.com/antigen_at_pharma.html
QR コードからもアクセス可能です。



測定の手順

【準備するもの】

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ テストデバイス



開封後



開封後

抽出用バッファータブ



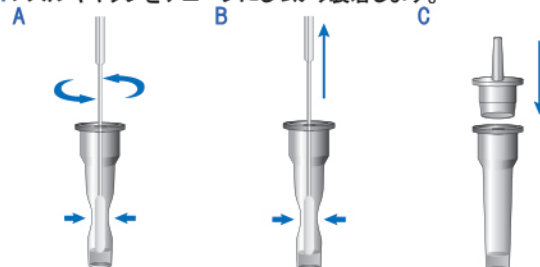
ノズルキャップ



※ 鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブの形状は異なる場合があります。
その他に時計かタイマーを準備してください。

2 試料の調製

- 抽出用バッファータブのシールを中身をこぼさないように注意深く開封し、検体採取後ただちに綿棒をチューブに浸します。チューブの外側から綿棒の先端をつまみ、綿棒を 10 回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。
- チューブの外側から綿棒の先端をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜きます。
- ノズルキャップをチューブにしっかりと装着します。



最低 10 回もみほぐす

1 検体採取(鼻腔ぬぐい液)

キットに付属の鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ(綿棒)を 1 本用意します。

綿棒は使用直前に開封し、綿球部分には手を触れないでください。

綿棒の真ん中より下の部分を持ち、鼻の穴から約 2cm のところまで綿棒を挿入します。この時無理に圧を加えないでください。

無理に圧を加えると鼻粘膜が傷つき出血したり、綿棒が折れ、怪我をする場合があります。

綿棒を鼻の内壁に沿わせて 4 回回転させ(約 15 秒間)、粘膜表皮を採取します。

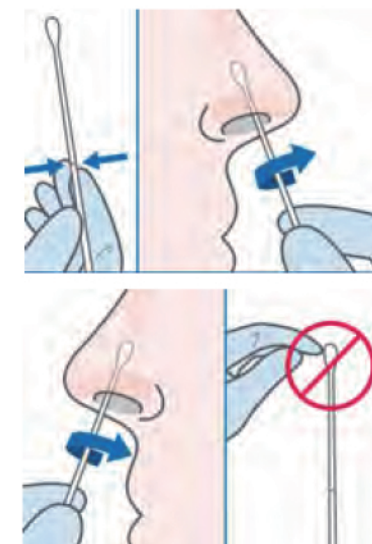
綿棒の先端がほかの部位に触れないように鼻の穴から注意深く引き出します。

同じ綿棒を使用して反対の鼻の穴でも同様の操作を繰り返します。

注意: 必ず 1 本の綿棒で両方の鼻の穴から採取してください。

綿棒が十分に湿っていることを確認します。

ただし、綿棒の先端には触らないよう注意してください。

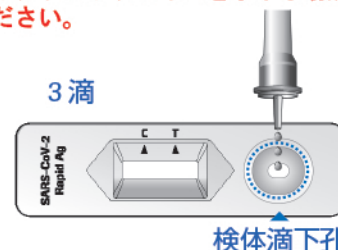


3 検体の滴下

テストデバイスを平らな場所に置き、チューブから試料 3 滴をテストデバイスの検体滴下孔に真上垂直から滴下します。

時計またはタイマーを 15 分にセットします。

試料滴下後は、テストデバイスを水平な場所に置き、動かさないでください。



4 測定結果の判定

15 分後に測定結果を判定します。



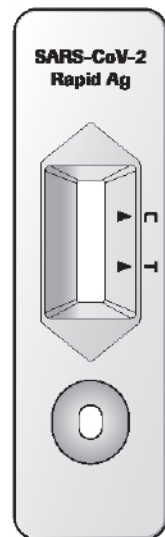
測定時間 15 分

判定時間 15 ~ 30 分



陰性の判定はコントロールラインが早めに出現した場合であっても、必ず 15 分後に行ってください。また、30 分以上経過した後の判定は正確な測定結果が得られない可能性があります。

結果の判定法 — 判定は 15 ～ 30 分の範囲内であればいつでも可能です。



コントロールライン



測定が正しく行われたことを示す

テストライン

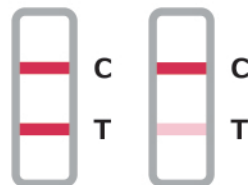


SARS-CoV-2 抗原



陽性

コントロールライン (C) とテストライン (T) の **2 本のライン** が出現する。テストライン (T) が薄い場合でも陽性と判定する。



SARS-CoV-2 抗原が陽性であり、感染性を持っていることを示します。

速やかに医療機関を受診してください。



陰性

コントロールライン (C) 1 本のみが出現する。



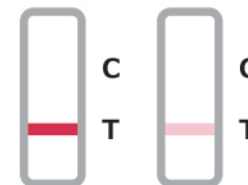
SARS-CoV-2 抗原は検出されませんでした。

偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。
症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。



無効

コントロールライン (C) が出現せずテストライン (T) のみ出現したり、1 本もラインが出現しない。



測定は無効です。
再測定を実施してください。

使用後は、ごみ袋に入れ、しばって封をした状態で、自治体のルールに従い廃棄してください。